

梅花女子大学 こどもフェスタ 2011 へようこそ!

今年で4回目となる「こどもフェスタ」、今回は「ふ・し・ぎ!」をテーマに、学生たちの祭典「小梅祭」と同時に開催します。地球の未来を考えるお父さんやお母さん向けの講演や写真展・映画上映の他、小さなお子さんに楽しんでいただける企画も盛りだくさんです。ぜひお越しください。

●上遠恵子さん 講演会「センス・オブ・ワンダーをいつまでも」●

今年3月11日の東日本大震災による福島原発事故をきっかけに再び注目を浴びている『沈黙の春』や、環境教育のバイブルのように読まれている『センス・オブ・ワンダー』を書いたアメリカの女性科学者レイチェル・カーソン。長年にわたって彼女の業績を紹介してこられた上遠恵子さんに、こどもたちが持っている「センス・オブ・ワンダー＝神秘さや不思議さに目をみはる感性」を生涯にわたって持ち続けることの大切さについて語っていただきます。



上遠恵子氏プロフィール：レイチェル・カーソン日本協会会長、エッセイスト。東京薬科大学卒業。東京大学農学部農芸化学科研究室勤務。『沈黙の春』に触発されてレイチェル・カーソンの研究をライフ・ワークとする。訳書に、カーソン『センス・オブ・ワンダー』（新潮社）、同『海辺』（平凡社ライブラリー）、リア『レイチェル「沈黙の春」の生涯』（東京書籍）、ワズワース『レイチェル・カーソン』（借成社）、他。



●映画『レイチェル・カーソンの感性の森』●

監督クリストファー・マンガー、主演カイウラニ・リー。2008年アメリカ映画。原題は“A Sense of Wonder”。カーソンが余生を送ったメイン州の海岸にあるコテージを訪れ、彼女が豊かな自然の中で姪の息子ロジャーと過ごした日々をドキュメンタリー・タッチで再現しています。

●小西貴士さん 写真展「子どもと森へ出かけてみれば」●

小西貴士さんは京都府出身、ハケ岳南麓の清里高原に広がる森や野原で、「キープ森のようちえん」の子どもたちを中心に、「森で育つ子どもたち」をテーマに写真を撮り続けておられ、全国各地で写真展やスライドショーを開催されています。著書に『子どもと森へ出かけてみれば』（フレーベル館）他。



◆地球おはなし村 語りと音のコンサート◆

地球おはなし村は、2003年に国立民族学博物館で開催された特別展「西アフリカおはなし村」でボランティア活動を行ってきた仲間たちが中心となり、2005年、江口一久教授を村長として結成されました。「語りあい 伝えあい ふれあい」をモットーに、口承による昔話と音楽の活動を続けながら、身近な人から世界の人へと、ふれあいの輪を広げることを目的として活躍しています。

◆どきどきアート◆

どきどきアートは毎年視覚に障害のある子供と家族を対象に造形教室を開催してきました。近年は障害の有無に関わらず、みんなで作る、楽しめるをテーマに「段ボールハウス、触る絵本づくり」などのイベントを開催しています。

◆色であそぼう◆

親子でのびのび、フィンガーペインティング! 大きな紙の上に、手や足を自由に使って、絵の具で楽しく、親子でお絵かきをしてみませんか? どんな世界ができあがるかな? 思うままにのびのび創造あふれる表現を楽しみましょう!

◆音であそぼう◆

梅花のおねえさんたちと一緒に、手作り楽器で、みんなで楽しく歌ったり、踊ったりしましょう♪ 音楽は、みんなの心のおともだち、心を元気にしてくれたり、心と心をつないでくれますよ! お父さんもお母さんも、みなさん一緒に!

◆親子で“モリモリ”運動あそび◆

親子だから楽しい身体をたっぷり使った運動あそびをぜひ体験しに来てください。手遊びやめっちゃおもしろいゲームも用意しています。お楽しみに♪♪ “元気モリモリパワー”を食べにきてくださいね!

■交通アクセス■

本学へは、JR 茨木、阪急茨木市、阪急北千里、北大阪急行千里中央、阪急石橋の各駅から無料のスクールバスが運行。所要時間約20分です。

